

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。

さいたま市立 岸町小学校

学校教育目標 豊かな心を持ち、たくましく生きる児童の育成

～かしこく やさしく たくましく なかよく～

「小さなよき社会人の育成を目指して」

- ・「凡事徹底」と「率先垂範」のできる誰からも愛される子どもたちを育成する。
- ・これからも、みんなが「笑顔」になれる学校にする。



■所在地：さいたま市浦和区岸町 5-20-4 ■電話：048-862-4320 ■FAX：048-836-1576

■交通：埼京線武蔵浦和駅・京浜東北線浦和駅徒歩 15 分

01 学びと学びをかけ合わせて新たな考えへ



本校では、様々な教科・体験を通して、児童自身が SDGs を身近に感じる機会を大切にしている。

3年生は、さいたまヨーロッパ野菜研究会の方を招き、地産地消をめざしたヨーロッパ野菜づくりについて話を聞いた。児童はレストランとの連携や品種改良などの取組に興味をもち、給食でも積極的に食べようとする姿が見られた。食育の学習で栄養教諭から学んだ「3つの栄養のはたらき」と結び付け、バランスよく食べる大切さを強く実感した。

4年生は社会科でごみ処理や水道について学び、現場の方の話や実験を通して暮らしを支える仕組みと SDGs (目標 3・6・14) との関わりに注目して学習を進めた。総合ではユニバーサルデザインをテーマに体験活動や町の調査を行い、誰もが安心して暮らせるまちづくり (目標 10・11) について考え、改善案を発表した。

5年生は服の回収を題材にリサイクルや世界の課題を学び、「岸町小を持続可能に」というテーマで学校生活の課題に自ら取り組んだ。調べ学習での情報整理を通じ、身近な環境をよりよくしようと主体的に行動する姿が見られた。



02 児童の自発的啓発からの全校一丸での取組



本校の SDGs 委員会では、給食の残菜削減を中心に食品ロスについて1年間取り組んだ。学校運営協議会では家庭と連携した改善策を話し合い、給食時間の呼びかけや継続的な啓発活動を実施した。児童が制作したポスターは地域の複数施設に掲示され、学校の取組を地域に広げる契機となった。また、「フードロスをなくそう」というメッセージ動画を制作し、全校に発信した。これらの活動を通して、児童一人ひとりが SDGs を自分ごととして捉え、行動に移そうとする姿勢が育まれた一年となった。